



左方面へ和牛の聖地旧熱田集落



想定以上の浸水

但馬牛は世界農業遺産に認定され、和牛の聖地、純血種但馬牛のルーツとして旧熱田集落が兵



ふじい まさひこ 藤井 昌彦 議員

旧熱田集落の新たな施策展開は 見て学び体験の場として検討します

庫景観遺産に認定されたが、現在の旧熱田集落はすでに廃村となっており、電気、水道等のインフラはなく、無論トイレもない。道路も勾配が急峻で道幅が狭い。

- ①道の改修
- ②トイレを含めたインフラ整備
- ③ウオーキング等世界の但馬牛をアピールする新たな施策の展開



をバピリオンとして発信するワールドバピリオンのSDGS体験プログラムに当地域が認定され、見て学び体験の場として内容を含め関係者と協議を進めていきます。



みつあき おさむ 見塚 修 議員

台風7号被害、復旧、課題への取組は!! 早期復旧と防災体制の確立に努めます

台風7号は予想を越えた豪雨洪水被害であった。①台風7号の想定と町の取組。②被害状況。③復旧方針、計画。④学んだ教訓。

- ⑤今後の課題。
- ⑥防災への取組。以上伺う。

町長 ①気象庁から15日明け方に警報発令との連絡を受け、発令時には対策本部の設置を決めました。②家屋被害は浸水・半壊等77棟、道路51件、河川67件、農地・農業用施設560件、林道18路線等です。③住家関係で消毒指導、④自主防災会と町、消防団との連携、自助共助の必要性を再認識。⑤雨量計・水位計の増設、適時・適切な情報発令、職員の採用・研修・配置体制の見直しが課題です。⑥防災センターは来年度に提案の予定です。

